

◆◆◆ ヨーロッパ中部のオーストリア・ドナウ川の河畔 ◆◆◆

DPU(ダヌーブ・プライベート大学)と姉妹校提携



東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼 中原 泉
編集人
発行日 偶数月末日
定価 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎ 025 (267) 1500



本学18校目の姉妹校



ダヌーブ・プライベート大学(DPU)は、二〇〇九年に創設されたオーストリアで唯一の私立歯科大学。EUの認証を受けており、教授陣のほとんどはドイツから招いている。首都ウィーンの西約七十キロのクレムス市にある。ダヌーブとはドナウ川、プライベートはドイツ語で私立のこと。理事長のマルガ・ワグナー・ピスケル(Marga Wagner-Pischel)女史は、フランクフルト大学を卒業した経済学者で、モングル名誉領事も務める。DPUの運営と経営は、理事長家族が務めている。

■ 空路

五月八日午前十一時二十分成田発。オーストリア航空の直行便で、ウィーン国際空港に向かう。十二時間余でウィーンに到着。日本と七時間の時差で、現地時間は八日の午後三時三十分だった。空路でDPU手配のハイヤーの出迎えをうけ、一時間ほどでクレムス市内の四ツ星ホテル・ステインベルガーホテルに着。フロントにはDPUの歓迎のメッセージが届いていた。

■ 歓迎

五月九日、土曜日。朝十時にDPUの理事長ご夫妻がホテルに迎えにいられた。理事長運転の車で本部校舎と歯科医院に向かい、DPU学長、事務局長らと面会する。学内見学では、ファンルームで実習する歯科学生と面談した。自主補習のため、土曜日も学生に実習室を開放しているとのことだった。

■ 講義

五月十一日は、姉妹校提携書調印式の日。まず学長室において、昨年までドイツのメインツ大学正教授だったKurt Altmann教授の特別講義が行われた。Altmann教授は、歯の人類形態学の国際学会大会長も務めた著名な先生で、歯の人類学・考古学センターの紹介と研究成果を講義された。

■ 調印

両校の講演を終え、午後一時四十分から理事長ご夫妻の調印式が行われた。DPUからは、マルガ・B・ワグナー・ピスケル理事長、ユンゲル・ピスケル相談役(理事長の夫人)、ステファニー・アクトゥンベルグ事務局長(Ms. Stefanie Achtenberg)理事長の長女らが調印式に臨んだ。

■ 交流

十二日の九時から十二時まで、Prof. Dr. Dorian Tuhant教授によるインプラント前処置としての顎堤拡張術や、インプラント埋入術など三例ライブ手術があり、各ケースについてディスカッションした。十二時三十分、DPU公用車でウィーンに向かう。市内見学後、日本食レストランSHENで、理事長の長男のロベルト・ワグナー氏と駐オーストリア・モングル大使のBatargal Gunatayar氏を交えて会食した。

姉妹校調印式(5月11日)
調印するDPU理事長(中央の女性)と羽村生命歯学部長(右)、影山教授(左) 左端は理事長の夫君・ピスケル相談役、その右は息女のアクロツネベルグ事務局長、右端はアルト教授



DPUの本部校舎と附属病院



ファントムで実習する学生たち

五月八日から十三日までオーストリア・クレムス(Krems)市に滞在した。五月九日、土曜日。朝十時にDPUの理事長ご夫妻がホテルに迎えにいられた。理事長運転の車で本部校舎と歯科医院に向かい、DPU学長、事務局長らと面会する。学内見学では、ファンルームで実習する歯科学生と面談した。自主補習のため、土曜日も学生に実習室を開放しているとのことだった。十二時から歯科矯正学教授であるMitsuo学長より、矯正治療の変遷に関する特別講義を聞く。理事長運転の車でクレムス市内を観光。翌十日の日曜日は、DPUのミニバスで理事長の自宅に向かう。大学からドナウ川の上流十五分ほどの小さな集落、ブドウ畑に囲まれ、素晴らしい絵やミニメント、調度品が飾られた美術館のような邸宅だった。DPU男子学生のピアノとバイオリンによるミニコンサートを楽しんだ。午後からは十キロほどの南の丘の上、千年の歴史を有するベネディクト会の修道院を訪れた。DPUの入学式は、この大聖堂で行われるという。その後観光船で、ドナウ川を遡上しながら河岸の景色を二時間ほど楽しむ。

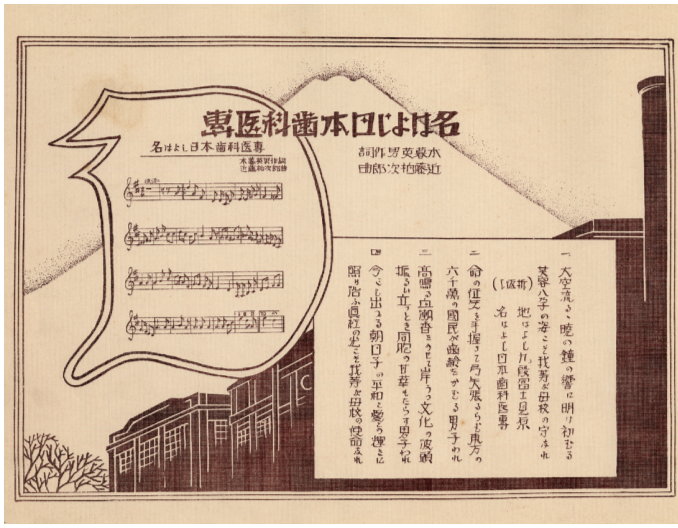
本学再生医療認定つく 特定認定再生医療等委員会

本学は、厚生労働省に特定認定再生医療等委員会の設置を申請していたが、六月十六日付で厚労大臣より認定を受けた。この認定は、再生医療等の安全性の確保等に関する法律により、本学における再生医療の研究・臨床を実施するためのもので、歯科大学では最初となる。現在、本学がすすめている歯髄細胞バンク事業等に適用される。

地はよし九段富士見原 名はよし日本歯科大学

♪日本歯科大学校歌の90年

卒業式や校友の会合では必ず歌われる本学の校歌は、大正十三年（一九二四）十月に制定、作詞者の近藤柏次郎氏は明治三十三年（一九〇〇）生で、九段



▷ 本学第18回卒業アルバムより（昭和4年）

小出 教授（新潟・補綴） 補綴学会賞 受賞



表彰楯を手にする小出教授（左）

新潟生命歯学部歯科補綴学第一講座の小出馨教授は、五月二十九日に公益社団法人日本補綴歯科学会より、平成二十六年度優秀論文賞の「学会賞」を授与された。同賞は論文賞の最高位である。受賞論文は、『日本補綴歯科学会誌』第六巻三号掲載の「Influence of Lateral Head Tilt on Mandibular Position」。

新潟生命歯学部歯科補綴学第一講座の小出馨教授は、五月二十九日に公益社団法人日本補綴歯科学会より、平成二十六年度優秀論文賞の「学会賞」を授与された。同賞は論文賞の最高位である。受賞論文は、『日本補綴歯科学会誌』第六巻三号掲載の「Influence of Lateral Head Tilt on Mandibular Position」。

新潟 体育館を改修

新潟生命歯学部の体育館は、昭和五十年（一九七五）の建築から四十年が経過し、内装や設備が老朽化したので、全面的に改修した。今回の改修にあたり、施設を使用している学生の要望を事前に確認し、可能な範囲で最大限に反

映した。工事は昨年十二月から実施し、本年四月から新装した体育館が使用できるようになった。全館の照明をLEDに変更したほか、今回の主な改修箇所は一階は①基本的に壁はボード貼り、床はシート貼りに変更、②ロッカー室とシャワー室の位置を変更し新装、③トレーニングルーム、ロッカー室に冷暖房設備を設置、④トイレはウォッシュレットを採用、⑤洗濯室を新設し、女子ロッカー室に専用の洗濯機を設置、⑥



フローリングに改修なった体育館2階

シャワー室給湯器はエコキュートを採用、また二階は、運動スペースのコー

の暁星中学から旧制第一高等学校、東京帝国大学法科へと進んだ。法学士となり、銀行に勤めたが、少年時代からピアノに親しみ、大正十四年にはフランスに音楽留学する。昭和四年に帰国し、我らがテナー」と謳われた藤原義江のピアノ伴奏を務めるなど、新進音楽家として活躍した。ところが昭和七年（一九三二）に不遇の死を遂げ、当時の新聞紙面を賑わせる。

九十年以上にわたり愛唱されている校歌に、大きな改訂が二回あった。以前は二番にあった「命の征矢を手握りて」の歌詞が全文削除され、「名はよし日本歯科医専」のリフレイン（繰り返し）が「日本歯科大学」と変更される。改訂されたのはいつ頃かわか

らないが、昭和二十六年（一九五二）十月の本紙第二十六号には、学生会が「校歌校旗に全面改正を希望するか、改良するか、現行のまままでよいかなど全学生にアンケートを実施した記事が掲載されている。昭和二十八年の第四十二回卒業生から日本歯科大学の卒業となるので、「名はよし日本歯科大学」と

日本歯科専門学校校歌

2/4

おほぞらながるるあかつきの かののひ

びきにあひそむるふーようはつたつ

たごそわれらが ばかうのともりな

れはよし くだんかじみはらな

はよしにほんしかいせん

『全国有名校歌集』（近代デジタルライブラリー）

改めたのだろう。そして、昭和六十一年（一九九六）、本学創立八十周年を機に、二番の歌詞「甘幸もたらす男子われ」を男女共同参画等の時勢から「学徒われ」に、二番のリフレイン「地はよし九段富士見原」を「地はよし新潟濱原」へと改訂した。校歌・応援歌・寮歌のレコードは、昭和三十六

平成28年度A〇入学試験・推薦入学試験（平成27年実施）

試験区分	A〇入学試験	推薦入学前期試験	編入学前期入学試験	
学部	新潟生命歯学部	生命歯学部（東京）	新潟生命歯学部	生命歯学部（東京）
募集人員	約15名	約10名（指定校制・公募制）	若干名	若干名
出願期間	郵送・窓口とも：27年8月24日（月）～9月3日（木） 窓口受付時間 10：00～16：00	郵送・窓口とも： 27年10月22日（木）～10月30日（金） 窓口受付時間 10：00～16：00	郵送：27年11月4日（水）～11月12日（木）必着 窓口：27年11月11日（水）～11月12日（木） 窓口受付時間 9：00～16：00	郵送・窓口とも： 27年10月22日（水）～10月30日（金） 窓口受付時間 10：00～16：00
出願場所・試験場	日本歯科大学新潟生命歯学部 〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8 ☎025-267-1500	日本歯科大学生命歯学部（東京） 〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 ☎03-3261-8311	日本歯科大学新潟生命歯学部 〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8 ☎025-267-1500	日本歯科大学生命歯学部（東京） 〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 ☎03-3261-8311
試験科目等	出願資格（オープンキャンパス参加が必須、昨年度参加可） ・目標を定めその実現のために積極的に行動することのできる、目標意識と意欲のある者 ・医療人にふさわしい高い倫理観や適性を持った者 ・本学以外の修学・志望は考えておらず、合格した場合には必ず本学への入学を確約できる者 ・その他、高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者等・・・ 選抜方法 1) 高等学校調査書 2) 面接試験（グループ・個人） 3) 実技評価 4) 資格取得状況、文化・芸術・スポーツの分野やボランティア活動なども評価	出願資格（公募制） 1) 平成27年3月卒業生並びに平成28年3月卒業見込みの者で人物・健康ともに優れた学業成績が良好で学校長が推薦する者 2) 合格した場合に入学を確約できる者 選抜方法 1) 高等学校調査書 2) 英語小テスト 3) 面接試験	出願資格（指定校制・公募制） 本学の基本理念と教育目標を達成するために、十分な学力と高い目的意識を持ち、相手の気持ちを理解できる人間性豊かな者で、次の条件を満たすこと。 1) 平成28年3月卒業見込みの者で、人物・健康ともに優れた学校長が推薦する者 2) 合格した場合に入学を確約できる者 選抜方法 1) 高等学校調査書 2) 英語小テスト 3) 小論文 4) 面接試験	出願資格 1) 大学卒業生、または平成28年3月卒業見込みの者 2) 大学に2年以上在学して、64単位以上を取得した者 3) 短期大学または高等専門学校の既卒者 選抜方法 1) 出身大学、在学大学、出身短期大学または出身高等専門学校の成績証明書 2) 英語小テスト 3) 小論文 4) 面接試験
試験日	平成27年9月5日（土）	英語小テスト、面接試験とも 平成27年11月3日（火）	英語小テスト、小論文、面接試験とも 平成27年11月15日（日）	平成27年11月3日（火） 平成27年11月14日（土）
合格発表	平成27年9月8日（火）に本人に合否通知を速達郵便で発送する。	平成27年11月5日（木）に本人と高等学校長宛に合否通知を速達郵便で発送する。	平成27年11月17日（火）に本人と高等学校長宛に合否通知を速達郵便で発送する。	平成27年11月5日（木）に本人に合否通知を速達郵便で発送する。 平成27年11月18日（水）に本人に合否通知を速達郵便で発送する。
手続期限	平成27年9月18日（金）	平成27年11月16日（月）	平成27年11月26日（木）	平成27年11月16日（月） 平成27年11月27日（金）